

令和8年度(2026年度)

進路だより

未来を切り拓く たくましく 心やさしい 子どもたちへ

札幌市立真栄中学校

第86号

令和8年(2026年)10月27日

★第4回進路希望調査用紙コメント欄より★

前号に続き、第4回進路希望調査で、御家庭より調査用紙下段のコメント欄にお書きいただきましたものを、ここで共有させていただきます。

○出願予定の私立高校 1 月受験は作文の試験があります。指導願います。

『夢をかなえるために』に、私立高校ごとの作文のお題を掲載していますので、確認してください。

例年同じ高校と、毎年少し異なる高校とがありますので、過去3年間のお題を掲載している高校もあります。

俗にいう「過去問」を使って準備をする生徒も多いでしょう受験勉強のなかで、5教科の入試問題について質問を受けて、教科担任と一緒に解答を導き出すことは多々あります。作文も同様です。係へお声がけください。

なお、事前に完成させた作文を暗記しておいて、入試本番で一字一句、まったく同じように書くことは必要ないと思いますし、本来的ではないと思われます。お題が毎年異なる高校もありますし、自身が考えていることを自分の言葉で素直に書くことが肝要だと思います。

○公立高校自己推薦受検の流れを詳しく知りたいです。

第4回進路希望調査用紙に、☒をつけていただいた御家庭が、自己推薦受検を現在お考えであること、承知しております。

先日お子さまが持ち帰りました「進路にかかわる学年進路学活」の資料を保護者さまもよくお読みいただきますよう、改めてお願い申し上げます。

①当該公立高校一般入試で例年合格する受験生の、おおよそのランクや入試点を、現在のお子さまのランクと学力テストA・Bの結果と照らし合わせて、合格して入学しても…、という観点から、明後日29日(木)からの教育相談の席で、学級担任より再考のアドバイスをさせていただくお子さまがいるかもしれませんが、原則として、自己推薦受検を本校で妨げることはありません。

②次回の第5回進路希望調査で☒を御記入いただきました御家庭には、期末懇談直後、別室にて親子同時に進路係より、自己推薦書作成に関する説明をいたします。修正、再作成をする時のことを考えて、手書きではなく、パソコンまたはChromebookでの作成といたしますので、御理解と御協力をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。なお、その説明後、自己推薦受検をとりやめて、一般受検の出願をしても構いません。

③自己推薦書の書式は昨年度同様で確定しています。フォーマットはまだアップロードされておりませんので、続報をお待ちください。(市立札幌大通高等学校等、定時制課程高校は書式が異なり、手書き式となります。個別に説明いたします。)

④自己推薦は自身で自分をアピールするものですから、本校は誤字脱字の点検をさせていただくだけで、添削指導はいたしません。当該公立高校Webサイトでスクールポリシー等を熟読しておいてください。余裕があれば、自己推薦書の下書きを始めてもよいと思います。

⑤年内の提出でも構いませんが、完成した自己推薦書を、冬休み最終日1月14日(木)に登校して提出していただきます。(願書は年内に提出済です。)誤字脱字があれば、修正または再作成していただきます。

⑥2月9日(火)または10日(水)に自己推薦入試が実施されます。高校によっては2日間日程で実施してよい、とのことですが、2月上旬に発表される各公立高校の募集要項では、9日(火)のみの実施、と多くの高校で記載されるものと思われます。募集要項で2日間日程と記された高校は、2月上旬に受検票が届かないと、入試日がいずれの日か判明しません。

⑦受検校が面接試験のみか、適性検査や実技試験等も課されるかは、御確認のことと存じます。おおよそ1週間以内に、中学校に合格内定か否か、通知が届きます。晴れて合格内定の際には、入学確約書をすぐに御提出いただきます。残念ながら内定とならなかった時は、保護者さまに御協力いただき、再出願手続きをしていただきます。この再出願先は、自己推薦受検をした公立高校でも、まったく別の公立高校でも、どちらでもかまいません。3月3(・4)日、再出願をした公立高校を一般受検することになります。

⑧自己推薦受検とは、その公立高校が第一志望であることが絶対条件です。合格内定後に入学確約書を提出しない、はあり得ません。